



国際理解講座開催



10月8日（木）の総合的な探究の時間に国際理解講座（1学年）を行いました。

今回は福島大学経営経済学類の特任准教授である長野博一氏を講師としてお招きし、「ユニバーサルデザインの考え方」をテーマに講演していただきました。



バリアフリーとユニバーサルデザインの違いは？

【バリアフリー】

障害を取り除く・障壁を取っ払う・バリアをなくす=困難な状況をなくす
対象者：高齢者、障がい者、外国人など

- ※バリアとは ①「物理的なバリア」例：道路・鉄道 ②「制度的なバリア」例：法令・制度
- ③「情報のバリア」例：サインや音 ④「意識のバリア」例：差別・無関心

【ユニバーサルデザイン】

誰もが使用でき初めから快適であるもの。特別なデザイン、特殊な考えではない。

「まちづくり」ではなく「社会づくり」。

対象者：今を生きる、これからを生きる全ての人

UD (ユニバーサルデザイン) 7原則

- ①公平性 ②柔軟性 ③簡易性 ④明確性 ⑤安全性 ⑥持続性 ⑦空間性

「伝える」難しさ

伝える=伝わる ではない。

伝える=一方通行

伝わる=相互通行



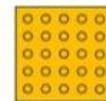
ゲームをしてみよう♪

2人1組になり、1人はスクリーンの写真を見てその写真は何か・どんな状況かを言葉で伝え、もう1人が答えるというゲーム。見たことのない景色や状況の写真が出てきて、相手に「伝わる」伝え方をすることに苦戦していたようです。

点字ブロックについて

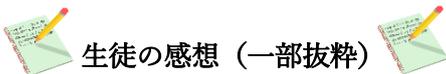
街中にたくさんある点字ブロック。異なる点字の形にはそれぞれ意味があります。

[点状ブロック] [線状ブロック]



警告/止まれ

誘導/進め



生徒の感想 (一部抜粋)

- ・バリアフリーとユニバーサルデザインの違いがわかった。多様性と相違性をよく考えた上で周りをよく見ながら生活したい。困っている人がいたら自分から話しかけて助けたい。
- ・私たちの周りには思ったよりも障害が多く、それを解決するためには様々な社会に対応した設備が必要だと感じた。何かを新しく生み出したり改善したりするためには相当な観察力と発想力が必要で、相手に寄り添うことが大切だと思った。
- ・大学で学ぶことは本当に社会を変えられそうで夢が広がっていると感じ、大学自体にも興味を持てた。